

## ● 第2回鎌倉市公共施設再編計画策定委員会を開催しました

11月21日（水）、第2回鎌倉市公共施設再編計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を開催しました。鎌倉市公共施設再編計画ニュース第1号でもご案内したとおり、策定委員会は、条例に基づいて設置された有識者等による鎌倉市の公共施設全体のあり方について議論する会議です。今回の策定委員会では主に以下の内容について、会議が行われました。



委員会の様子

### 1. 鎌倉市公共施設再編計画基本方針（素案）について

今年度は、「鎌倉市公共施設再編計画」の骨子となる基本方針を作成する予定であり、この素案について議論がありました。策定中の段階ではありますが、策定委員会で示された方針などについてご紹介いたします。

まず、「基本姿勢」として、市民の皆さんと公共施設の更新問題について危機意識を共有し、課題・対応を先送りにしないこととしています。

これを実践するためには、公共施設を資産ととらえ、マネジメント※の考え方を導入する必要があると考えました。残念ながらこれまでの市の施設管理には、このマネジメントの考え方が明確には取り入れられていませんでした。このようなことから、行政サービスのあり方を見直し、財政と連動した総合的視点からの施設保安を行い、公設・公営の発想を変えていくことが必要になります。

また、大方針として、あらゆる施策・手法を総動員した課題改善と、公共施設を資産ととらえ、活用にあたり効率性を追求するマネジメントの実現を掲げました。

具体的には次の5つの取組方針を掲げています。

- **マネジメントの実現と着実な進展** …新規単独施設整備の原則禁止、保有する公共施設の縮減 等
- **機能の複合化・多機能化、防災機能の強化** …建替え等の施設更新時は、原則、複合化・多機能化 等
- **市民・民間事業者との協働** …民間事業者の資金・ノウハウの活用 等
- **取組みに必要な庁内体制の構築** …マネジメントを実践し、財産管理に取組む体制の構築 等
- **地域ごとの施設のあり方を見直し** …現在の5つの行政地域にこだわらない、公共施設の適正配置 等

※「マネジメント」という言葉を、ここでは、公共施設（資産）を経営的な視点を持って管理することという意味で使用しています。

再編計画基本方針は素案の段階ではありますが、策定委員会ではどのような内容について議論されているかを、市民の皆さんにお知らせするために今回ニュースに掲載しました。

次回策定委員会（平成25年1月21日開催予定）では、この素案を再編計画基本方針（案）として整理し、その後、2月頃に市民の皆さんにご意見をいただくパブリックコメントを実施する予定です。パブリックコメントの実施につきましては、別途、ホームページ等でご案内をさせていただく予定です。

## 2. モデル事業について

市では、再編計画全体の先導的な事業として、公共施設にかかるコストを縮減することが可能な事業を選定し、モデル事業を実施していくことを検討しています。今回の策定委員会では、モデルとなる公共施設の統廃合や複合化、民営化などの手法について、具体的に取り組む対象を検討する作業の前に、まずはモデルパターンとして整理すべきとの意見がありました。

-----

### ● 全国の公共施設に関する事故について

テレビ・新聞等の報道でご存じの方も多いと思いますが、公共施設に関する事故が起っています。ここでは、事例を2つご紹介します。

#### 中央自動車道笹子トンネルの 天井崩落事故

平成24年12月2日、高速道路のトンネルの天井板が落下したことによる死傷事故が発生しました。

原因はまだ明らかになっていませんが、開通から35年以上経過したトンネル天井接合部の劣化・老朽化が指摘されているようです。

老朽化している公共施設は建築物だけではなく、今回事故のあったトンネルなどのインフラも同様の問題を抱えています。

#### 九段会館(東京都千代田区)の 天井崩落事故

東日本大地震では九段会館の大ホールの天井が落下したことによる死傷事故が発生しました。

地震で天井が落下したという面も否定できませんが、他に周辺で類似の事故が起きていないことから施設の老朽化の問題、ひいては施設管理に問題があったのではないかと考えられています。

### 鎌倉市の公共施設（建築物）について

それでは、鎌倉市の公共施設は大丈夫なのでしょうか。市では、法令に基づく範囲で点検を行っており、公共施設の劣化・老朽化による大きな事故は幸いなことに起こっておりません。九段会館の事故のように公共施設であっても、天井や外壁が頭上に落下するなどの大きな事故が起る可能性があります。

事故を防ぐ対策としては、十分に点検や修繕・改修を行うことが望ましいところですが、厳しい財政状況を踏まえると、公共施設の維持管理に使える予算には限りがあることも事実です。また、老朽化した公共施設を次々に建替えて行くことはさらに困難です。このため、現在保有する公共施設をこれまで通りの方法で維持管理することは、大変難しい状況であると言わざるを得ません。

市では、この状況を乗り越え、公共施設を介した市民サービスの水準を維持することを目指し、公共施設を再編することに取組んでいます。このための基本方針・再編計画を策定し、安全で身の丈にあった公共施設に再編していくものです。そのためには、市民の皆さんのご理解とご協力が欠かせません。

今後もこの取組みの経過などをお知らせして参ります。